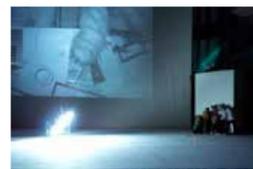


まちなかアートイベント *参加無料



7月18日 [土]
トーチカワークショップ
「トイレのワークショップ」
 ペンライトを使ってラクガキする様子を撮影するワークショップ。撮影した映像は、会期中に若草公園のトイレの壁面で作品の一部として上映します。
 ▶ ライフパル 市民活動・消費生活センター (大分市府内町3丁目7-39)
 ◎ 11:00-16:30



contact Gonzo × ホンマタカン「顔を破すと雨が降る」
 photo Inoue Yoshikazu
7月18日 [土] -19日 [日]
コンタクト・ゴンゾ
パフォーマンス公演
 まるでケンカや格闘技のようにも見えるパフォーマンスを、ビルの屋上で展開します。
 ▶ 若竹ビル(大分市府内町2丁目4-5)
 ◎ 7月18日 20:00- 7月19日 17:00- (所要時間30分程度)



7月25日 [土]-26日 [日]
藤 浩志
「いらなくなったおもちゃで
作品をつくらう」
 大分市でエコリサイクルにまつわる活動をしているTeam+UTTMのコラボ企画!
 1日目は活動紹介と今後の活動についてのトークセッション。2日目は廃材とおもちゃを使って作品を作るワークショップを開催します。
 ▶ 大分エコセンター株式会社 (大分市大字三佐1354-8)
 ◎ 7月25日 14:00-17:00 7月26日 9:30-12:30



8月21日 [金]
安野太郎 ソンビ音楽コンサート
 作曲家・安野太郎氏の自作のリコーダー自動演奏機「ソビ」による、奇妙な演奏会を開催します。「ソビ」の奏でる不思議な音色をぜひ体験してみてください。



「スーパープレミアムソフトWPAパニック」
 ©Christian Kleiner
8月23日 [日]
チェルフィッチュ
新作パフォーマンス公演
「わたしは彼女に
何もしてあげられない」

どこでもあるようなカフェでお茶を飲むひとりの女性客。彼女の仕事やひとりごとから生み出される、日常的でありながらも深遠な物語。
 ▶ 府内珈琲(大分市府内町2丁目2-18)
 ◎ 15:00- 17:00- 19:00- (所要時間30分程度・3回公演)
 作・演出 | 岡田利規 出演 | 福継美保



8月28日 [金]-29日 [土]
上田 假奈代
トイレ連れ込み朗読+ミニ朗読会
 大分にゆかりのある詩の朗読会と、お客様を個室に連れ込んだ際の密室内での朗読パフォーマンスを開催。
 ▶ カモシカ書店 (大分市中央町2丁目8-12)
 ◎ 8月28日 20:00-21:30 8月29日 11:00-12:30



9月19日 [土]-23日 [水・祝]
Nadegata Instant Party
(中崎 透+山城大智+野田智子)
クロージングイベント
 各地で数々のユニークなプロジェクトを仕掛ける「ナデガタインスタントパーティ」によるイベントで、トイレナレのフィナーレを飾ろう!
 ▶ ウイング大分駅前店 屋上駐輪場(大分市中央町2丁目1-1)
 ※作品に関する説明会を7月20日 [月・祝] に開催します。詳細はWebサイトでお知らせします。

各イベント・プログラムの詳細は「おおいたトイレナレ2015」のWebサイトまたはFacebookページをご覧ください。

URL | <http://toilennale.jp> Facebookページ | <https://www.facebook.com/oita.toilennale>

まちなか発見マンガプロジェクト

このプロジェクトは、新しい視点で大分の街を観察し「おもしろい!」と感じたこと・ひと・場所(お店、駅、公園など)を大分の魅力を多くの人と共有していくことを目的として、大分県立芸術文化短期大学がマンガ制作に取り組みました。このマンガの設置場所等の詳細はWebサイト及びFacebookページにてご案内いたします。

応援プログラム紹介

エアポ

トイレナレの会場をめぐるポイントがたまるスマホ用アプリ。ポイントで素敵なギフトをもらおう! グルメ情報やビューティー、エンターテインメントなど、街の楽しみ方がいっぱい詰まったアプリです。



音入れジョークボックス

トイレナレとじゃれつながらジャスカフェ酒場アルファのトイレに設置されたタブレット型ジョークボックス。「音楽の店」にちなみ、トイレ用装置「音姫」から着想し、じゃれや格言、大分市民にはおなじみのローカルCMソングなど、豊富な音のコンテンツがトイレのタブレットから流れてきます。

まちなか体験イベント

7月24日 [金] 16:00-21:00
街を歩け! 街で飲め! 街を呑み干せ!
~浴衣でポン 日常の非日常~
 浴衣姿で街を歩き、この街で生まれ育った案内人ならではのディープな場所にご案内します。締めくくりは、まちなかビアホールで乾杯!
 案内人 | 児玉憲明 集合場所 | ふないアクアパーク
 参加料金 | 500円(飲食代が別途必要) 定員 | なし

7月31日 [金] 19:30-22:00
まちなか同時多発BunDoku読書会
 オススメの本を持ち寄り、紹介し合う読書コミュニティ「BunDoku」(ブンドク)。5つのテーマから1つ選び、テーマ毎にグループに分かれて本の紹介をします。
 案内人 | 堀米彌久 集合場所 | ガレリア竹町ドーム広場
 参加料金 | 1,000円(カフェ代ほか実費として) 定員 | 20名

8月1日 [土] 18:00-21:00
まちなかの公園でアウトドア体験!
 まちなかの公園でアウトドア体験を楽しみながら、トイレナレ作品を鑑賞します。
 案内人 | 二宮哲郎・川並 順
 集合場所 | 大分城址公園 大手門
 参加料金 | 2,000円(バーベキューソフトドリンク1杯付き 飲み物持込可・3歳未満無料) 定員 | 15名

8月28日 [金] 12:00-14:30
JR九州大分駅&大分車両基地
バックヤードツアー 定員となりました
 大分駅や大分車両センター内の日頃は立ち入りできない場所にご案内します。JRのここでは聞けない話を聞きながら見学しましょう。
 案内人 | 甲斐裕樹 集合場所 | 大分駅改札口前
 参加料金 | 大人500円/小学生300円 定員 | 15名

9月4日 [金] 17:00-21:30
snack darenchi (スナック ダレンチ)
 昭和歌謡の音楽を聴きながら、1日限定バーを楽しむ。案内人 | 高橋 明日香
 集合場所 | FLAT (大分市中央町1丁目5-25 新大分ビル1F)
 参加料金 | 2,000円(飲み放題。食べ物は別途) 定員 | 30名

アクセス

大分市へのアクセス

飛行機で
 大分空港を利用します。空港から大分市中心市街地までは空港バスをご利用ください。

就航路線
 東京(羽田)、千葉(成田)、大阪(伊丹)、名古屋(中部国際) ●空港特急バス「エアライナー」
 大分空港 → 大分(約1時間)

列車で
 大分市中心市街地へは、JR大分駅を利用します。

日豊本線
 ●特急「ソニック」—博多 → 大分(約2時間)
 ●特急「にちりん」—宮崎空港 → 大分(約3時間)
 ●普通列車—別府 → 大分(約12分)

豊肥本線
 ●特急「九州横断特急」—熊本 → 大分(約3時間)

久大本線
 ●特急「ゆふ」[ゆふいの森] —久留米 → 大分(約2時間20分)

船で
 大分市中心市街地にアクセスの便利なフェリー発着所は3カ所あります。

●西大分港フェリーターミナル(ダイヤモンドフェリー)
 ●佐賀関港(国道九四フェリー)
 ●別府国際観光港(関西汽船)

車で
 大分市中心市街地へは、大分ICから車で約10分です。
 福岡市・博多から—九州自動車道(約2時間15分)
 北九州市から—椎田道路→宇佐別府道路→大分自動車道(約2時間20分)
 熊本市から—九州自動車道→長崎自動車道→九州自動車道(約3時間30分)
 宮崎市から—東九州自動車道(約2時間50分)

周辺の駐車場情報については「おおいたパーキングNav」をご利用ください。



バスで

大分県外からの高速バス、特急バスは「トキハ前」「フォーラス前」で下車。

●「とよのくに スーパーノンストップ」 —博多駅交通センターから(約2時間30分)
 ●「サンライト」 —長崎駅から(約3時間40分)
 ●「トロピカル」 —鹿児島高速船ターミナルから(7時間33分)
 ●「ぶんご」 —名鉄バスセンターから(11時間50分)
 ●「やまびこ」 —熊本駅前から(約3時間50分)
 ●「SORIN号」 —京都駅から(約12時間20分)
 ●「別府ゆけむり号」 —広島バスセンターから(約6時間)
 ●「パシフィックライナー」 —宮崎駅から(約3時間30分)



県内アート情報



別府現代芸術フェスティバル2015 「混浴温泉世界」

世界有数の温泉地・別府を舞台にしたアートフェスティバル。ガイドに誘われ、町の奥深くに潜む不思議を体験するツアー「アートゲートクルーズ」、夜の別府を舞台に開催する週替りワカダンスプログラムのツアーでめぐる「ベップ・秘密のナイトダンスツアー」、アーティストが生み出すお化け屋敷「永久別府劇場・恐怖の館」、毎日どこかで何が起こるライブ型展覧会「わくわく混浴デパートメント」、2人の外国人アーティストが滞在制作する「KASHIMA 2015 BEPPU ARTIST IN RESIDENCE」の5プログラムを中心に、大人も子どもも楽しめます。町のあちこちに隠された不思議の扉をアートが開きます。
 ◎ 2015年7月18日 [土]—9月27日 [日]
 ▶ 別府市内各所(大分駅より車で約15分)
 参加アーティスト | 枝 史織、大友良英、クワコリョウタ、蓮沼航太、Abe "M" ARIA、北村成美、吟子、The NOBEBO、鈴木ユキオ、ANTIBODIES Collective、MuDA、福岡恐いもの研究会、藤 正光、遠藤一郎、藤星なつみ、アダム・チオスコ、スタババズワズほか
 主催 | 別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会
 ◎ <http://mixedbathingworld.com>



JR九州おおいたトイレナレ

大分県内各地で開催される、アートと鉄道を融合させたイベント。大分県在住の絵本作家「ザ・キャンピングバニー」とのコラボレーションによる列車のラッピングや絵本型スタンプラリーなど、鉄道の旅がもっとたのしくなる企画がたくさん。
 ◎ 2015年7月5日 [日]—11月29日 [日]
 ▶ 大分県内各所 主催 | JR九州大分支社



大分県立美術館 OPAM

2015年4月大分市の中心部にオープンした「出会いと五感のミュージアム」。唯一無二の芸術体験と創造の場として、子どもから大人まで、誰もが気軽に立ち寄れる、街に開かれた美術館。夏はマンガをテーマにした企画展を2本開催します。
 ◎ 10:00-19:00 (入館は18:30まで) 金・土20:00まで(入館は19:30まで)
 ▶ 大分市寿町2番1号(大分駅より徒歩約15分)
 ◎ <http://www.opam.jp>



アートプラザ

大分市出身の国際的建築家・磯崎 新氏が設計した元大分県立大分図書館を、芸術文化の複合施設として再生。1・2階は市民ギャラリーや美術創作活動の場として広く活用されており、3階には磯崎氏が手がけた世界各地の建築作品の模型や資料を常設展示しています。
 ◎ 9:00-22:00 (磯崎新建築展示室は18:00まで)
 ▶ 大分市荷揚町3-31 (大分駅より徒歩約10分)
 ◎ <http://www.art-plaza.jp>



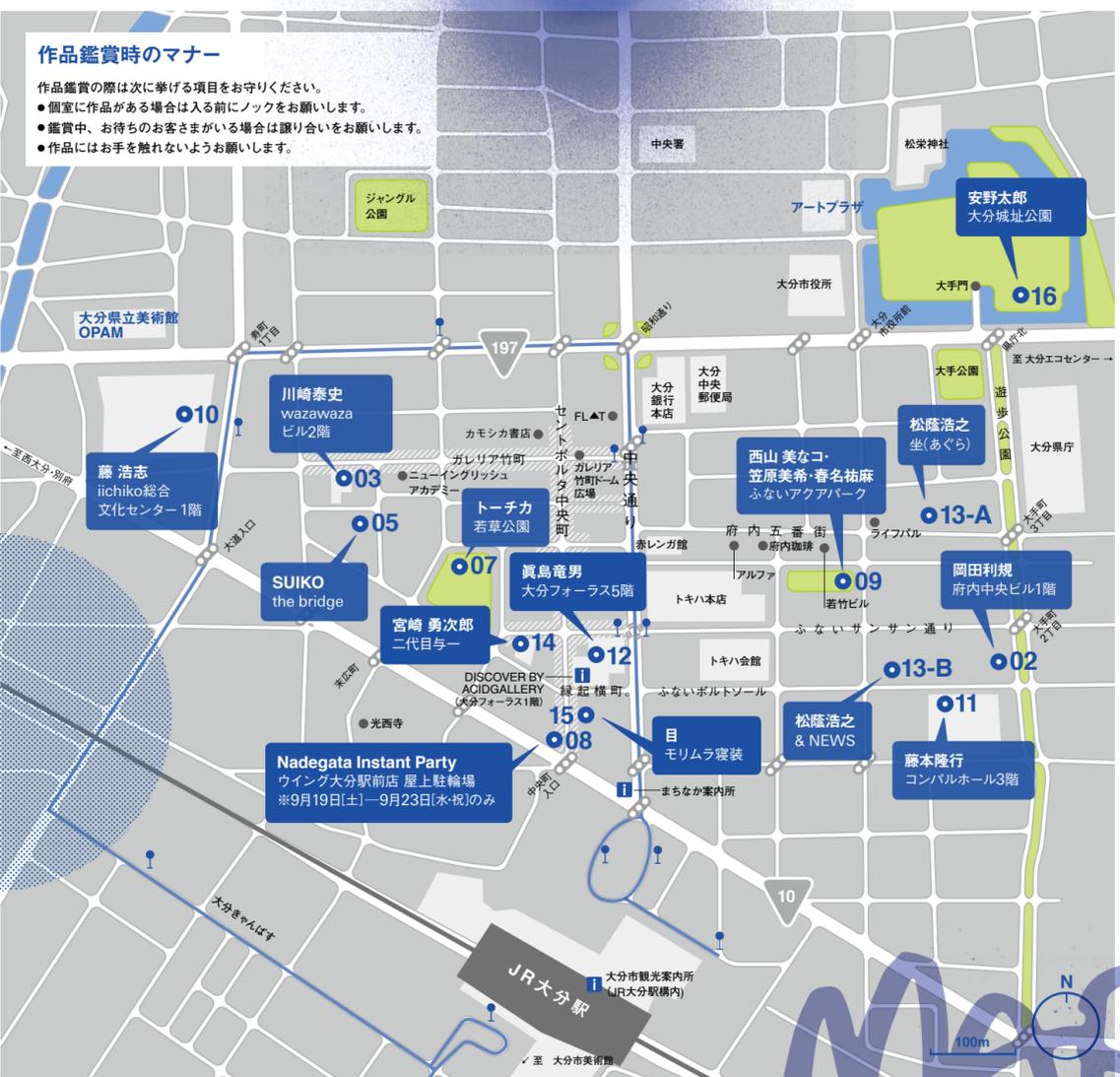
大分市美術館

緑豊かな上野丘公園内にある「たのしんでみてまなぶ美術館」。『おおいたトイレナレ2015』の会期中は「特急ソニック」や「なつ星 in 九州」などの斬新なデザインで注目を集める水戸岡鋭治氏の業績を紹介する展覧会を開催します。
 ◎ 10:00-18:00 (入館は17:30まで・月曜休館)
 ▶ 大分市大字上野865番地(大分駅より車で6分)
 ◎ <http://www.city.oita.oita.jp>
 (大分市HPより、観光・魅力>大分市美術館)



2015. 7.18sat. -9.23wed
 大分市中心市街地各所

お問い合わせ・イベントのご予約
 「おおいたトイレナレ 2015」インフォメーション
 TEL : 070-5410-0335 MAIL : toilennale718@gmail.com URL : <http://toilennale.jp> Facebook ページ : <https://www.facebook.com/oita.toilennale>



まちなかインフォメーション

おおいたトイレナールには、インフォメーションセンターがありません。このステッカーを貼ったお店はおおいたトイレナールの公式まちなかインフォメーションです。作品のことやまちなか情報など、困った時はお立ち寄りください。

Tシャツに白衣を着た「ボールさん」を探そう!

- 「ボールさん」は、まちのいろんな情報を教えてくれますが、得意なジャンルは人それぞれ。どの「ボールさん」に出会えるか、まちの楽しみ方が変わるかも!
- おおいたトイレナールのアンケートに答えて「ボールさん」に提出するか、まちなか案内所、観光案内所、ライバルに持っていかとオリジナルグッズがもらえます。

「おおいたトイレナール」とは?

大分市中心市街地のトイレを舞台に開催する、世界でもほかに例のないアートフェスティバルです。どこにでもあって、だれもが使うトイレが、16組のアーティストによってアートに変身します。会期中はおおいたトイレナールオリジナルのワークショップやライブ、演劇公演、パフォーマンスなど、多彩なイベントを毎週末開催します。この夏、どこにでもありそうなまち大分の、思いがけない場所で特別なアート体験が待っています!

「大分きゃんばす」でお得にまちをめぐる!

まちなかの移動には、大分市美術館や大分県立美術館をむすぶ中心市街地循環バス「大分きゃんばす」が便利です。地図上の青いラインが循環ルートです。バス停のマークがある場所に停車します。

料金 | 大人100円 小学生以下50円 | 1日乗車券300円

会期 | 2015年7月18日[土]—9月23日[水・祝]

会場 | 大分市中心市街地各所

主催 | おおいたトイレナール実行委員会

協力 | 別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会

助成 | 文化庁 平成27年度 文化庁 文化芸術による地域活性化国際発信推進事業

協賛 | TOTO株式会社 大分営業所

後援 | 大分県、大分県教育委員会、大分合同新聞社、朝日新聞大分総局、読売新聞西部本社、毎日新聞社、日本経済新聞社大分支局、西日本新聞社、共同通信社、時事通信社、日刊工業新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、OCT大分ケーブルテレビコム、エフエム大分、月刊「シティ情報」おおいた、日本トイレ協会、大分市商店街連合会

参加アーティスト



photo: 森義之

01 | 上田 假奈代

1969年生まれ。3歳より詩作、17歳から朗読をはじめ。92年から詩のワークショップを手がける。01年「詩家宣言」を行い、さまざまなワークショップメソッドを開発し、全国で活動。03年コラムをたちあげ「表現と自律と仕事と社会」をテーマに社会と表現の関わりをさぐる。08年から西成区(通称・金ヶ崎)で喫茶店のふりをしている。「ヨコハマトリエンナーレ2014」に釜ヶ崎芸術大学として参加。NPO法人えことばとことばの部屋(コクルム)代表。大阪市立大学都市研究プラザ研究員。2014年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞。

トイレの個室にお客様を連れ込み、詩の朗読を行います。

☑ トイレ連れ込み朗読+ミニ朗読会

☒ カモシカ書店(大分市中央2丁目8-12)

◎ 8月28日[金] 20:00-21:30

8月29日[土] 11:00-12:30



photo:Nobutaka Sato

02 | 岡田利規

1973年横浜生まれ。演劇作家/小説家/チェルフィッチュ主宰。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。05年「三月の5日間」で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。同年7月「クラー」で「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005」次代を担う振付家の発掘」最終選考会に出場。07年デビュー小説集「わたしたちに許された特別な時間の終わり」を新潮社より発表し、翌年第二回大江健三郎賞受賞。12年より、岸田國士戯曲賞の審査員を務める。13年には初の演劇論集「遊行 変形していくための演劇論」を河出書房新社より刊行。

● 雑居ビルにある、別の世界へ通じるかのような共用トイレの日常をちょっと浮遊した異空間に。

☑ つぎの世界のすぐ手前(2015年新作)

☒ 府内中央ビル(大分市南内町1丁目6-27)

◎ 常時



photo: yasunori takeuchi

03 | 川崎泰史

造形作家。1983年佐賀県生まれ。2010年より活動を開始。人間の身体におけるかたちへの興味や、その美しさ

の追求ではなく、その人を持っている自我や人格、人柄などの内面の情報から表面を造形した人物像を制作している。2013年より、大分県別府市のアーティストが居住するアパート「清島アパート」に拠点を移し活動中。

童話をモチーフにした、表情豊かかわいらしい作品が雑居ビルのトイレでお出迎え。

☑ 北風と太陽～考えたってしょうがないじゃん～(2013年)

☒ wazawazaビル2階(大分市中央3丁目5-16)

◎ 8:00-22:00



04 | コンタクト・ゴンゾ

肉体的衝突を起因とする独自の牧歌的崇高論を構築し、それをもとに即興的なパフォーマンス、映像、写真などを制作。contact Gonzoとは集団の名称であると同時に方法論の名称でもある。急斜面や高速で撃たれる果物、個々に作る作品や料理などによりお互いがインスパイアされつみ合う。その背後には山がある。現メンバーはNAZE、松見拓也、三ツ尻敬悟、塚原悠也の4名。2015年よりゼン文化財団シニアフェロー助成採択。

大分市中心市街地の複数のトイレにアドレスを掲示します。そこにメールを送信すると、さまざまな作品が届きます。※作品の詳細や展示会場についてはおおいたトイレナールWebサイトをご覧ください。



photo: yasunori takeuchi

05 | SUIKO

グラフィティアーティスト/グラフィティショップ兼アーティスト/ajoint | dimlight | 代表。広島を拠点に世界各国を巡るグラフィティアーティスト、デザイナー。国内初のグラフィティ企画展「X-COLOR」(水戸芸術館、2005年)以降活動規模を拡大。近年は壁を媒体とした表現にとどまらず、WaitDisney社、コカ・コーラ社、アディダス社、ECKOUnltd.社などへもアートワークやデザインを提供するなど表現領域を広げている。

● 壁面に描かれたグラフィティが無限に広がっていくかのような空間。2つの作品の違いも楽しんで。

☑ 色、カタチ、生命 / letter~辞狂~ (2013年)

☒ the bridge (大分市中央3丁目3-19)

◎ 11:00-23:00



photo: 温沼高英 photo: Kazashito

06 | 高山 明 (PortB)・小野正嗣・林立騎 (Port観光リサーチセンター)

2002年東京にて結成。演出家・高山 明を中心にプロジェクトごとに形を変えて作れる創作ユニット。実際の都市を使ったインスタレーション、ツアー・パフォーマンス、社会実験のプロジェクト、言論イベント、観光ツアーなど、多岐にわたる活動を展開。演劇の可能性を拡張し、社会に接続する方法を追求している。2013年にはシンクタンクPort観光リサーチセンターを設立し、「東京ヘテロトピアを発表、4人の作家(菅喜次郎、小野正嗣、温 又柔、木村友治)とのコラボレーションは2015年春にiPhoneアプリ化され、注目を集めている。

大分県出身の小説家・小野正嗣による小説を、様々なメディアとともに大分のまちに展開する参加型作品。

☑ 大分メディアコレジオ(2015年新作)

※作品の詳細や展示会場についてはおおいたトイレナールWebサイトをご覧ください。



photo: yasunori takeuchi

07 | トーチカ

メディアアーティスト。ナガタケシとモノカヅエによる1998年より活動始めたクリエイティブユニット。共に1978年生まれ。様々な手法を用い、商業フィルム、現代美術など、業界の垣根を超えて活動を行う。どのような制作においても「実験的精神」を掲げ、試行錯誤の中から、ハッピーアクシデント(偶発的な幸運な出来事)を誘う。

夕暮れ時になると、公園のトイレの外壁に輝かれた鏡の向こうにラクガキをする人々の姿が映し出されます。

☑ トイレのラクガキ(2013年)

☒ 若草公園(大分市中央2丁目4)

◎ 常時(上映時間は17:30-0:00)



photo: yasunori takeuchi

08 | Nadegata Instant Party (中崎 透+山城大督+野田智子)

美術作家、十和田市現代美術館館長。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了後、ハブアニューキニア国立芸術学校講師、都市計画事務所勤務を経て藤 浩志企画制作室を設立。「ヤセ犬の散歩」「おまのカルエ物語」|「VinylPlasticsConnection」|「Kaeikko」|「藤島八十郎をつくる」等、各地で対話と地域実験の場を作る美術類のデモンストレーションを实践。活動の連鎖を促すシステム型作品にも興味を注いでいる。

ROAD SHOW

東京都現代美術館などがある。

「おおいたトイレナール2015」のフィナーレを飾る、クロージングイベントを企画します。

☒ ウイング大分駅前店 屋上駐輪場(大分市中央2丁目1-1)

※作品に関する説明会を7月20日[月・祝]に開催します。詳細はWebサイトでお知らせします。

◎ 9月19日[土]-9月23日[水・祝]



photo: yasunori takeuchi

09 | 西山 美なコ・笠原美希・春名祐麻

西山 美なコ | 美術家。1965年兵庫県生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。「かわいい」や「ピンク」を全面に押し出した作品で注目を集める。女性性や装飾と社会の関係性などをテーマに、国内外で活動中。

笠原美希 | 美術家。1988年 奈良県生まれ。京都精華大学芸術学部大学院修了。日常的に目にするものから、信仰や社会の捉え方を問うものまで、多岐に渡るテーマで自身の足元を見つめ直し、社会の断面を切り取る。

春名祐麻 | 美術家。1988年兵庫県生まれ。京都精華大学芸術学部大学院修了。大人がコブレをして授業を展開する「体操服プロジェクト」など。主に「性」をモチーフにシリアスになりがちな社会を風刺する作品を制作。

公園のトイレが巨大なフェイク・スイーツに变身! 甘くかわいらしいこの作品は、私達の現在と未来を問いかけています。夜にはまた違った表情をみせます。

☑ メルティングドリーム(2014年)

☒ ふないアークパーク(大分市南内町2丁目3)

◎ 常時(ライトアップは日没-0:00)



photo: yasunori takeuchi

10 | 藤 浩志

美術作家、十和田市現代美術館館長。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了後、ハブアニューキニア国立芸術学校講師、都市計画事務所勤務を経て藤 浩志企画制作室を設立。「ヤセ犬の散歩」「おまのカルエ物語」|「VinylPlasticsConnection」|「Kaeikko」|「藤島八十郎をつくる」等、各地で対話と地域実験の場を作る美術類のデモンストレーションを实践。活動の連鎖を促すシステム型作品にも興味を注いでいる。



11 | 藤本隆行 (Kinsei R&D)

1987年からダムタイプに参加し、主に照明並びにテクニカル・マネージメントを担当する。21世紀に入ってから、LED照明を使った舞台作品の制作を開始。最近の作品としては、2013年に白井剛との共作として、愛知トリエンナーレ、神奈川芸術劇場、香港文化中心にて発表された「Node / 砂漠の老人」、2014年に韓国の振付家JungYoungdoとの共作として神奈川芸術劇場で発表された「赤を見る / SeeingRed」がある。またその他にも、国内外のアーティストとのコラボレーションを活発に行い、2010年からは大分の山本能楽堂にて、古典的な能の演目LED照明デザインを付ける試みも始めている。その仕事は、デジタル技術を積極的に舞台や美術作品に援用することで、身体とテクノロジーが確かな相互作用を結び、より解像度と強度の高い経験を観客に提示することをめざしている。

図書館や公民館などを含む複合施設の男子トイレで、これまでにない音と光の知覚体験が待っています。

☑ Boundary line you've made (できちゃった境界線)(2015年新作)

ディレクション | 藤本隆行 (Kinsei R&D)

サウンドデザイン | 今井 健太郎

協力 | STAGE CREW NETWORK

機材協賛 | カラーネティクス・ジャパン株式会社

技術協力 | 有限会社 タマテックラボ

☒ コンパルホール3階(大分市南内町1丁目5-38)

◎ 10:15-17:45

☑ 毎月第2曜日



photo: yasunori takeuchi

12 | 眞島竜男

1970年東京都生まれ。1993年、Goldsmiths College, University of London 美術科卒業。1997-2000年、スタジオ食堂参加。2000-2004年、Bゼミ Learning System 専任講師。2011-2014年、清島アパート入居。2013年、武蔵野美術大学造形学部油絵学科非常勤講師。写真、ビデオ、彫刻、テキスト、パフォーマンス、レクチャーなど、多様なメディアによる作品を発表。

約90分にわたるマンツーマンの現代美術史講座。歴史をひもとく、今わたしたちの生きる時代を見つめ直します。

☑ 現代美術史講座「現代アートはどこから来たのか」(2014年)

☒ 大分フォーラス5階(大分市中央1丁目2-7)

◎ 10:00-20:00



13 | 松蔭浩之

現代美術家。1965年福岡県生まれ。88年大阪芸術大学写真学科卒業。アートユニット「コンプレッソ・スタジオ」で、90年ヴェネチアビエンナーレ・アペルト部門に世界最年少で出展。以後個展を中心に国内外で活動。写真、パフォーマンス、グラフィックデザインなど幅広く手掛ける。06年シンガポールビエンナーレほかにも日本代表として参加。アート集団「昭和40年会」会長。「美学校」において後輩の育成にも当たっている。

ヴェネチアビエンナーレに史上最年少で参加した伝説のアーティスト・松蔭浩之が大分のために2つの新作を発表!

A ☑ STEREO PORNO (2015年新作)

☒ 坐(あぐら)(大分市南内町3丁目7-33Bアパートメント3F)

◎ 19:00-2:30

B ☑ 水に流して(2015年新作)

☒ &NEWS (大分市南内町1丁目6-43Bスクエアビル2F)

◎ 11:30-19:30



photo: yasunori takeuchi

14 | 宮崎 勇次郎

1977年大分生まれ。2001年東京造形大学美術科卒業。2005年の「トキョウファンダーウォール公募2005」トキョウファンダーウォール大賞を皮切りに、2007年「VOCA展2007」、2009年「neoneo展Part1」[男子]「ネオネオ・ポーズは草食系?」高橋コレクション展、2013年「第16回岡本太郎現代芸術賞」展(東京)など。実家は大分市下郡で銭湯を営んでおり、壁に描かれたペンキ絵はとて身近なものだったという。大学時代に銭湯の背景絵師に手ほどきを受けた経験から生まれるその作品は、鮮やかな青空や香り立つような樹木の緑と富士山をベースに出来ている。

● トイレ壁面にキャンバスに描いた極彩色の風景画には、この場所に関わる人々の想いが込められています。

☑ 旅するトイレ(2015年新作)

☒ 二代目寺一(大分市中央2丁目3-7)

◎ 11:00-21:00

☑ 毎月第1、第3月曜日

※応援プログラムとして、会期中に大分市末広町の光西寺にて個展を開催します。詳細はおおいたトイレナールWebサイトをご覧ください。



15 | 目

個々のクリエイティビティを特性化し、連携を重視するチーム型芸術活動。中心メンバーは、アーティストの飛神明香、ディレクターの南川憲二、制作統括の増井宏文の3名。果てしなく不確かな現実世界が実感に引き寄せられる「体験」を作品として展開している。これまで「たよらない現実この世界の在りか」/ 養生堂ギャラリー、「おじさんの顔が空に浮かぶ日」/ 宇都宮美術館館外プロジェクト、「世界に溶けるドキュメント」/ ヨコハマ・パブリックエンターテインメントなど、さまざまな方法で作品を発表。

壁の向こう側にある、住人しか知らない空間。この作品は、普段目にするこがいない商店街の裏側を作品を通じて自在に行き来します。

☑ 見立線(2015年新作)

☒ モリムラ寝装(大分市中央1丁目1-13)

◎ 10:00-17:00



16 | 安野太郎

作曲家。日本とブラジルのハーフ。いわゆるDTMやエレクトロサウンドとしてのコンピューター・ミュージックとは異なる軸でテクノロジーと向き合う音楽を作ってきた。代表作に「音楽映画」シリーズ、「サーチエンジン」、「ソング音楽」がある。これまでにCD「デュエット・オブ・ザ・ピンクデッド」|「カルテット・オブ・ザ・ピンクデッド」|「pboxxレーベルよりリリース。第12回・第17回文化庁メディア芸術祭、第7回JFC作曲賞受賞。

● キリシタン大名の娘、ソニコ姫は、禁教の時代において生運信仰を買きました。姫の愛した笛の音が、現代に蘇る!

☑ ソニコ姫の秘蹟その痕跡/ノイズ(2015年新作)

☒ 大分城址公園(大分市南内町4)

◎ 9:00-21:00

※作品鑑賞は女子トイレのみ

応援プログラム紹介

Local Spot デジタルアート

トイレナールの会場をめぐるポイントがたまるスマホ用アプリ。またまたポイントでニューイングリッシュアカデミーにてオリジナルゲームも体験できます。作品周辺のおすすめ情報も配信する。作品めくりの必須アプリ。

※ニューイングリッシュアカデミーの開館時間についてはおおいたトイレナールWebサイトをご覧ください。

